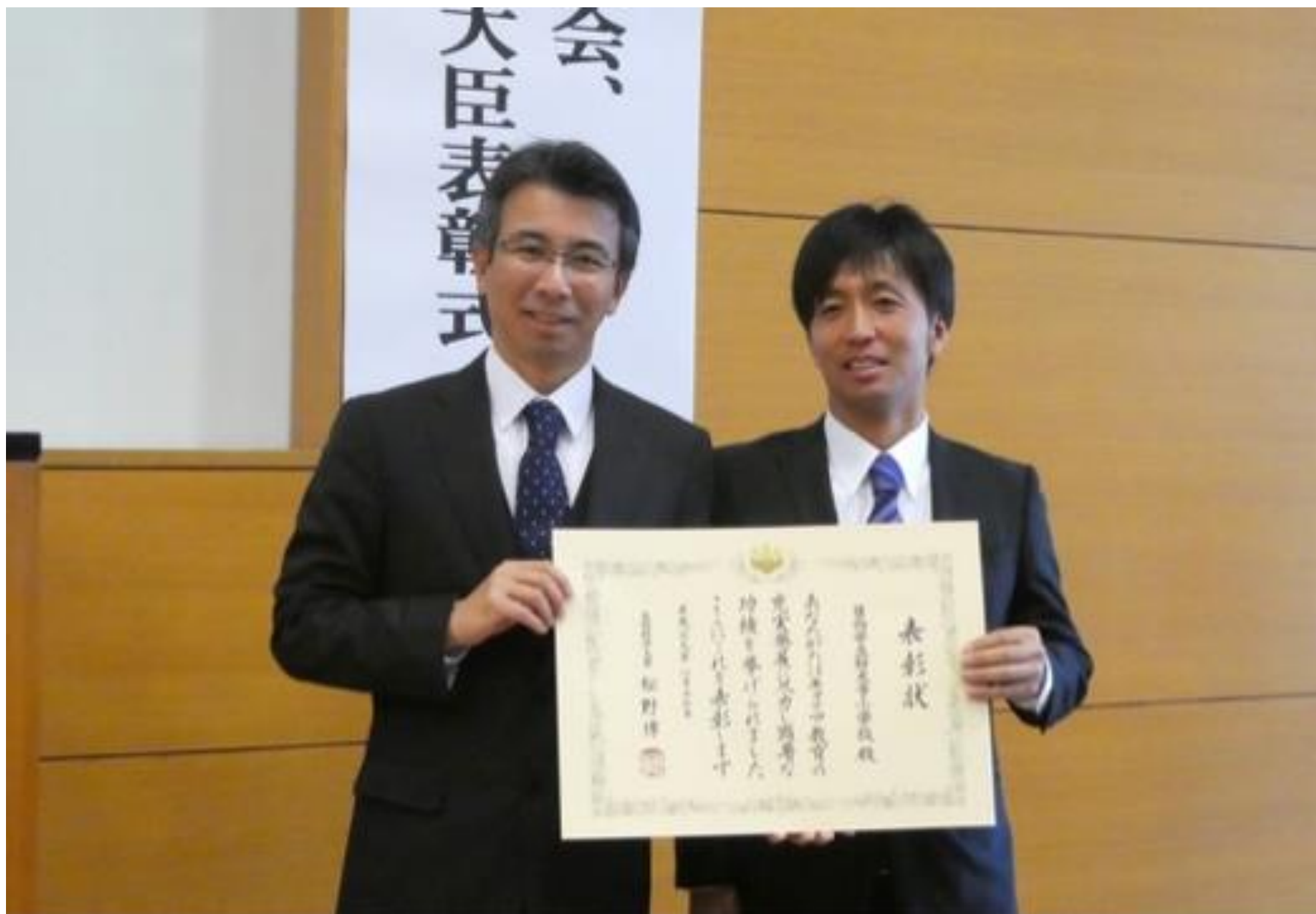




日向市立 **財光寺小学校** が
「文部科学大臣表彰」 を受賞
授賞する財光寺小学校 **三樹和幸** 校長





大臣表彰式

表彰状

貴校が、令和元年（2019年）に、
「教育の力で、社会の未来を
変える」をテーマに、
全国的に展開された
「教育の力で、社会の未来を
変える」をテーマにした
取り組みに、
顕著な功績を挙げ、
大臣表彰（教育功績賞）に
選ばれたこと、
を表彰する。

令和元年 12月 10日

文部科学大臣 萩野博

第10回キャリア教育
優良教育委員会、学校及びPTA団体等
文部科学大臣表彰

平成29年1月17日(火)

文 部 科 学 省

概要

財光寺小学校では、学校経営の根幹にキャリア教育を据えて、日向商工会議所（日向市キャリア教育支援センター）と連携して、外部人材（よのなか先生）を登用した「よのなか教室」を活用した取組などを展開している。

当校では、5つの力（つながる力、分かる力、創る力、やりぬく力、グローバル・グローバルと郷土愛）を身に付けさせていくことを目指し、それを達成するために様々な切り口から授業を進めている。

当校では、教職員だけではなく学校に勤務する全ての職員がキャリア教育の推進に携わっており、カリキュラムを学校の実態に即してマネジメントし直し、ストーリー性のある実践的な指導を日常的に展開している。

※ よのなか教室

産業界を中心とした地域の全ての大人（＝よのなか先生）が、キャリア教育の講師として子どもたちに「働く喜びや苦勞」などの講話を行う事業

1 学校のもつネットワークや人材を活用した実践

(1) 小高の連携

小学校高学年にとって年齢的に近い先輩である高校生との意見交換を通じて、「自分の将来」や「今やるべきこと」を深く考え、今後の学校生活の改善を図る。

(2) 学校技術員の活用

教職員だけではなく、学校内の全ての人材を活用してキャリア教育を進める。児童にとって身近な「働く人」の価値観に触れることで感謝の気持ちを持たせ、児童がこれからできることを考える機会とする。

2 外部人材のプロの技術を生かした実践

(1) 教科での活用

新聞記者や印刷会社デザイナーを講師として、プロの技術を教科指導に活用し、授業を活性化させる。

(2) 実感を大切にされた実践

清掃会社の取締役社長を講師として、プロの技術と児童のそうじの仕方を比較させ、児童の驚きや気づきを大切にしながら、学習を進めていく。

(3) 異文化との繋がり

青年海外協力隊員を講師として、総合的な学習の時間のなかでセネガルの小学校とビデオレター交換による国際理解を展開している。

3 教職員の主体性を生かした実践

(1) 教職員の社会観の醸成

夏季研修で地元企業の見学や経営者との意見交換、工房での芸術体験学習や意見交換を通して、教職員の社会観を広げている。

(2) 行事との関連強化

外部人材を活用し、「働く意味や喜び」「学生のうちにしておくこと」などを語ってもらい、児童の社会観・職業観を広げている。

(3) 外部人材の発掘

日向商工会議所主催の研修会に参加して、学習にマッチする講師を探し授業を作っている。

4 PDCA サイクルの改善の常態化

(1) 継続的評価

20項目に及ぶキャリア教育に関する評価を経年で続けており、その評価を基に学習を展開している。

(2) 新たな実践へのアプローチ

前例踏襲に陥らないよう、実施計画に基づいて、「よのなか先生」による新たな授業を展開している。

(3) 情報発信

PTA 新聞の特集記事やHPによるリアルタイムの情報発信を行い、保護者の理解を深めている。